

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2015 SUMMER 157 - JAPAN



手持ちのコンセント プレートを聴く

この機会に手持ちのコンセントプレートを聴いてみる。フルテックの102・D(2900円・税別)は、ステンレスの裏面に制振材を複合した構造。透明度が高く、中低域は締まって力があり、解像度など価格を考えれば性能は高く薦められるもの。むろんクリプトンとは価格なりの差がある。

104・D(8400円・税別)はフルテックの高級プレート。ステンレスをベースにカーボン、グラスファイバーによる美しい仕上げ。明るく透明、滑らかで上品な音質。SN比は十分に高く、音質は柔らかな傾向がある。締まりやコントラストは多少あまくなるが、中間帯域の抜けの良さ、きれいで聴きやすく芸術性が魅力になる。このような傾向を求めるには電源ケーブルではなく、コンセントプレートを選ぶ方法もあることが分かる。

コンセントプレートによる影響力は大変大きい。オーディオではない。最近では新製品が少ないが、再度見直してみてもどうだろう。